

令和3年度 第2回 (確定稿) 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日 時:令和3年7月13日(火)18時30分～20時00分
■会 場:オンライン(Zoom)

◎担当理事及び委員紹介(事務局)

○6月末より久松順子理事が、新しくボランティア・市民活動推進事業担当に就任された。
久松理事より挨拶。

引き続き、今回より参加される高井裕貴委員、中嶋太委員の自己紹介、委員自己紹介を行った。

1. 報 告 事 項

- (1) 業務報告(令和3年5月・6月)について(資料2)
- (2) コーディネート状況月次報告(資料3)、コーディネート実績表(資料4)
- (3) 業務予定(令和3年7月・8月)について(資料5)
- (4) 夏！体験ボランティアの進捗状況について

○事務局より、(1)～(4)について資料を用いながら説明を行った。

【委 員】 質問等、特になし。

【委員長】 夏！体験ボランティアについて。実施前のアンケート調査などにより、開催でき参加希望者も来ているということで良かった。
これから参加者がまだ来る可能性はあるのか。

【事務局】 現状として、今年度開催していることがわからない方もいると思われる。問合せなどが来た場合には参加につながるように説明し、参加者を増やしていきたいが、新型コロナウイルス感染症の状況により、予測がつかない。

【事務局】 本年度は学校を通じた児童・生徒へのチラシ配布を配布せず、校内掲示用のポスター配布に変更した。
参加希望者からポスターを見てきたなどの声もあり、ある程度の効果があった。
「おうちでできるボランティア」に関しても市外からの参加者もあり、良いスタートがされている。

【委員長】 今年の参加者の年齢層はどうか。

【事務局】 小学生から社会人まで前回までとあまり変わっていない。

2. 審 議 事 項

- (1) 令和3年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)について(事前送付)

○事務局より、7月16日までに修正などをいただき完了したものを確定稿とする。

3. 協 議 事 項

(1) ボラフェス 2021「第18回ボランティアのつどい」開催について(資料6、7、8)

○協議前に事務局より、過去のボラフェスの開催経過について説明を行った。

【事 務 局】 今年度の西東京ボランティア・市民活動センター事業計画にボラフェスを計画しているが、人が集うフェスティバル方式での開催は難しいと思われる。

今年度どのような方向性で進めていくのかを検討していきたい。

ボラフェスに関しては、一昨年度運営委員会で検討作成されたボランティアセンターアクションプラン「気球くんプラン」の中でもイベント再検討が求められている。

本日は、「基本的な方向性」、「何を重視するか」などについての話合いが出来ればと考えており、事務局としては、「気球くんプラン」に記載されている開催の目的の中から、次の2つの目的で開催することが可能ではと考えている。

1. ボランティアセンターを知ってもらうための印刷物の作成。

2. ボランティアグループ同士の話合いや交流の場としての開催。

【委 員 長】 概要についてはよろしいか。

【副委員長】 ボランティアグループと市民活動団体のカテゴリーは違うか。

【事 務 局】 本来の違いはないと思われるが、次回までに確認し、報告したい。

【委 員 長】 話をまとめると、西東京市には市民活動を支援する為に「ボランティアを支援するボランティアセンター」と市民活動センター「NPOなどを支援するゆめこらぼ」(社会福祉協議会が西東京市より受託)がそれぞれ活動してきた。

ボラフェスは、西東京市のボランティア活動を盛り上げていく目的で開催。

盛況だったが、ここのところ開催方法などについて見直しを検討しなければいけない状況であった上に、コロナ禍において実施検討すら難しい状況になってしまった。

「気球くんプラン」の内容を踏まえつつ、どういう方向に進めていくのかを検討していきたい。

【委 員 長】 まずは、参加や見学した方から率直な印象をお聞きしたい。

【副委員長】 やっているかわからないし、ロビーは寂しいので、関係者以外が入っていいかわからなかった。

メイン会場ではボランティア団体紹介などがスムーズに行われていたが、全体的に寂しい雰囲気の内輪の開催と思われた。

【委 員 長】 参加したことがあるが、内輪のイベントという雰囲気が強かった。

また、会場入り口の装飾などはあまりなく、開催表示なども少なかったため、来場者が入っていいのか迷っているようだった。

【委 員 長】 ボラフェス開催の目的を問い直すことから始めた方がよいと思われる。

先ほど事務局からの目的についての提案をもう一度確認したい。

【事 務 局】 ・ボラセンを知ってもらう、福祉教育にも活用できるような印刷物の作成。

・ボランティアグループ同士のディスカッション的開催のような形での実施が可能ではないかと考えた。

【委 員 長】 印刷物の場合、どのように配布などを行う予定か。

【事 務 局】 全戸配布も考えたが、予算的に難しいため、配布方法についても、これから考えていきたい。

【委員】 コロナ禍になり、ボランティアが離れていかないような取り組みが必要となっている。

印刷物は小学生へのボランティア理解やボランティアを始めようとしている方への説明や施設職員のボランティア理解などに活用できれば良いと思う。

【委員長】 印刷物をどのように効果的に活用していくかも考えていかなければならない。

【副委員長】 どのようなボランティアがあるのかなどを図や絵などを使用するなどしながら、わかりやすく伝えることのできるようなものを作成すると良いのでは。

【事務局】 ボラフェス(ボランティアのつどい)の基本を知っていただけるような取り組みにしたい。

ボラセン・ゆめこらぼの両方にかかわられる理事のご意見をいただけますでしょうか。

【理事】 コロナ禍という状況がボラフェスを考え直す良い機会となったと思い、進めていけば良いのではないかな。

ボランティアグループ同士のディスカッション的開催は内輪のものになってしまうため、印刷物の方が良いと思う。

印刷物作成に関しては、活動者の方々のニーズの把握が必要と思われる。

また、掲載希望者の条件をどうするのか、対象をどうするのかを決め、表紙やデザインなどを決める必要があると思われる。

【事務局】 印刷物を作成する上で、福祉教育やコーディネートに活かしていけるような印刷物としたい。

【副委員長】 作成するからには、費用がかかっても印刷物に対する、作成者の熱量が伝わるものにしていかなければいけない。

今、小学生は、地域の事などに関心しているといわれていますので、西東京市にはどのようなボランティア活動があるのか、知ってもらえるようなものを作ると良いと思う。

【委員】 小学生向けに印刷物を作ることは良いと思うし、興味を持つと思う。

小学生が参加できるボランティアはどういうものがあるのか。

【事務局】 小学生の皆さんは平日の参加が難しく、週休日は活動先が休みであったりするため、夏！体験ボランティアで高齢者施設や環境保全活動などに参加してもらっているが、本年は受け入れ先がなかった。

また、近所のゴミを拾うことなどもちょっとした身の回りのボランティアになるということをお伝えしている。

【委員長】 小学生が来ることに活動先の意見はどうか。

【委員】 高齢者の方は、小学生が来て話してくれたり、いてくれるだけでも日常にはない刺激となっている。

核家族化が進んでいて、参加することで高齢者の方を理解してもらえれば良いと思っている。

【委員】 保育園では少し年上の先輩ということで、子どもたちにとって見本となってもらえばいいと思う。

【委員】 小学生は、学校で高齢者施設と関わる機会などを作っているが、授業として捉えていると思う。

印刷物を見て、知ることにより自主的にボランティア参加してくれると良いと思う。

【委員】 地域に 100 以上のボランティア団体があるとのことなので、より多く参加できるようになると良いと思う。

【副委員長】 市内の市民活動団体の把握は出来ているのか。

【事務局】 すべての団体については把握しきれていないが、把握している団体をはじめで
るだけ多くの団体に情報を伝えたい。

【委員長】 話は続いているが時間もあるため、ボラフェスに関しては今後も継続課題として
いくことにする。

4. そ の 他

次回運営委員会開催日程について

○事務局より、今後 Zoom での開催時は 18 時からの開催とすることで委員に承認された。

■日時:令和3年9月14日(火) 18時30分～20時00分

■会場:田無総合福祉センター 3階 第1会議室

配布資料

- | | |
|------|---|
| 資料 1 | : 運営委員名簿 |
| 資料 2 | : 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(令和 3 年5月・6月) |
| 資料 3 | : コーディネート状況等月次報告(令和 3 年5月・6月) |
| 資料 4 | : コーディネート実績表(令和3年5月・6月) |
| 資料 5 | : 西東京ボランティア・市民活動センター業務予定(令和3年7月・8月) |
| 資料 6 | : ボランティア・市民活動センター事業の基本方針 |
| 資料 7 | : 過去のボラフェス |
| 資料 8 | : ボランティアのつどいについて |